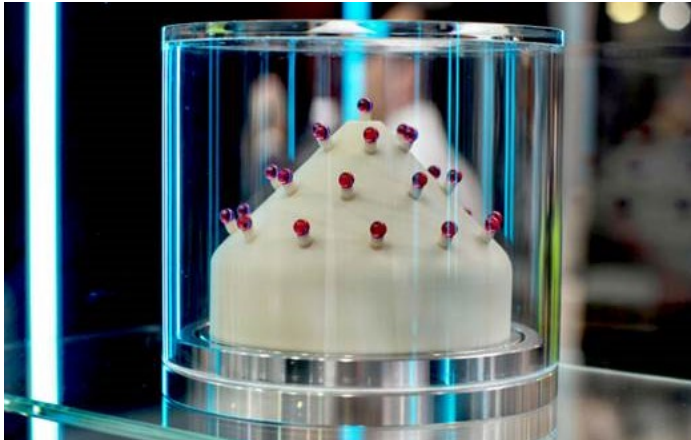


ICT校正球 ICT calibration sphere

ICT多球体標準器-Multi sphere standard

工業用CTシステムの幾何精度校正および測定不確かさ評価に使用される球体標準器です。

高精度球体を三次元的に配置した構造を有し、既知の球中心間距離および球径を基準として、CTシステムの空間位置決め精度、再構成精度および寸法測定精度の検証に使用されます。



本質：複数の高精度球体を特定の空間配置（トポロジー）で組み合わせた複合標準器。

構造：一般的には7個の高精度球体を使用し、低熱膨張アルミ合金製の支柱により異なる高さに固定。三次元的な基準構造を形成し、安定した球中心位置と球径を提供。

機能：既知の球中心間距離と球径を基準として、CTシステムの空間位置決め精度、再構成精度、寸法測定誤差を検証するために使用。

--主な用途--

幾何精度校正：

CTでスキャンして3D点群を取得し、サブピクセル級の球体フィッティングにより球中心距離の偏差を算出。回転台の動作誤差や射線方向の深さ誤差を補正する。

測定不確かさの評価：

VDI/VDE 2630などの規格に基づき、工業用CTの測定範囲ごとのシステム誤差

および拡張不確かさを評価する。

多分野での利用：

航空宇宙（エンジン部品の欠陥解析）、精密製造（ギア・鋳造品の内部検査）、電子部品封止の検査、地質コアサンプルの内部構造解析など幅広い領域で使用される。

本製品は **ドイツGOEKELE Messtechnik GmbH** による特許取得製品です。

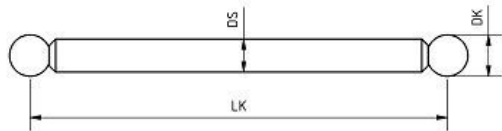
本製品には DAKKS 校正が含まれており、触覚測定で決定された基準値を収録した校正データ（USBメモリ）が付属します。

型番	球径(mm)	球材質	本体材質	外形寸法(mm)	測定範囲(mm)	校正
CAL-CT-S130-27	φ5.0 (27個)	ルビー	セラミックコーン	φ133×105	90×40	DAKKS

ICT校正球は、工業用コンピュータ断層撮影において、測定システムの寸法精度と性能を確認するために使用されます。

これらは、測定精度の校正、検証、および監視に用いられ、非常に軽量で寸法安定性と耐熱性に優れたカーボンファイバーで作られており、信頼性が高く再現性のあるCT測定結果を実現します。また、他の材料と比較して、放射線不透過性のグレー値が非常に低いという特徴があります。

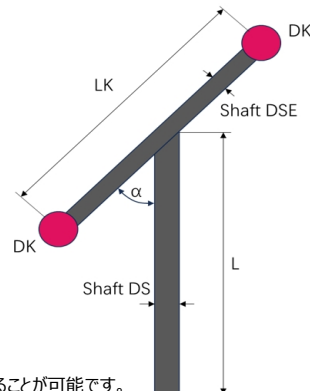
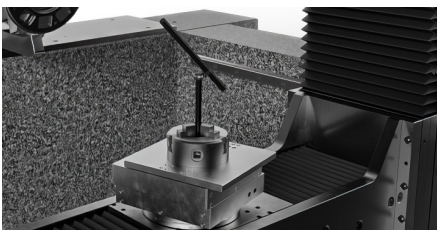
ストレート ※接続部ネジ山なし



本製品には、直径・形状および球中心間距離に関する DAKKS 校正証明書をオプションで付けることが可能です。

型番	DK(mm)	DK素材	LK(mm)	DS(mm)	DK素材	重量 (g)
18040101	10(2x)	ルビー	100	8	カーボン	11.8
18040102	8(2x)	ルビー	80	6	カーボン	11.8
18040103	6(2x)	ルビー	60	4	カーボン	11.8
18040104	3(2x)	ルビー	30	2	カーボン	11.8
18040105	2(2x)	ルビー	20	1.5	カーボン	11.8

T字型



本製品には、直径・形状および球中心間距離に関する DAKKS 校正証明書をオプションで付けることが可能です。

型番	DK(mm)	DK素材	L(mm)	DS(mm)	DS素材	DSE(mm)	LK(mm)
CAL-CT51	5(2x)	ルビー	160	5	カーボン	3	75
CAL-CT51.2	8(2x)	ルビー	200	8	カーボン	6	120
CAL-CT51.3	10(2x)	ルビー	240	8	カーボン	6	180



NDグループ
ND GROUP

N D精工株式会社 OPTCOM事業部 〒438-0803 静岡県磐田市富丘141-1

TEL : 0538-21-8600 / FAX : 0538-21-8602 Mail : info@nd-seiko.co.jp

<http://www.nd-seiko.com>

ND精工株式会社は、**ドイツGOEKELE Messtechnik GmbH** の日本国内における**日本正規総代理店**です